



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 スタンレー電気株式会社
 コード番号 6923 URL <https://www.stanley.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平塚 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部門長 (氏名) 赤松 知範
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03(6866)2222

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	258,816	14.4	23,162	27.0	25,837	28.4	13,855	39.7
2020年3月期第3四半期	302,184	8.1	31,737	21.4	36,099	20.0	22,970	22.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 24,685百万円 (4.4%) 2020年3月期第3四半期 25,823百万円 (7.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	86.01	86.00
2020年3月期第3四半期	141.25	141.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	509,324	410,528	72.5
2020年3月期	494,365	397,989	72.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 369,157百万円 2020年3月期 358,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		25.00		20.00	45.00
2021年3月期		20.00			
2021年3月期(予想)				25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	357,000	8.8	35,000	40.9	39,500	31.5	22,200	19.7	137.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	173,700,000 株	2020年3月期	174,200,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	13,189,652 株	2020年3月期	12,283,275 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	161,080,208 株	2020年3月期3Q	162,628,275 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、四半期決算短信[添付資料]P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 全般的な営業の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の影響により、依然として厳しい状況にあるものの、すでに中国は持ち直し、日本、米国、及びアジアの一部でも持ち直しつつあります。一方、欧州では感染症の再拡大が影響し、弱い動きとなりました。

以上のような事業環境のもと、当社並びにグループ各社（以下、当社グループ）の業績は、当第1四半期連結会計期間において、感染症拡大防止のための生産活動の一時停止や減産を行ったことにより、主に自動車関連製品が大きく減少したことで、減収減益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,588億1千6百万円（前年同期比14.4%減）、営業利益は231億6千2百万円（前年同期比27.0%減）、経常利益は258億3千7百万円（前年同期比28.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は138億5千5百万円（前年同期比39.7%減）となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間（2020年10月～12月）は、自動車生産台数が回復した影響により、売上高は1,030億5百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は145億2百万円（前年同期比43.4%増）、経常利益は163億1千万円（前年同期比39.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は100億8千4百万円（前年同期比38.1%増）と大きく改善しております。

また、2020年12月には三菱電機株式会社と車載用ランプシステム事業に関する業務提携を発表いたしました。先進運転支援システムや自動運転社会の実現に向けて、従来よりもさらに高い安全性と機能性を有する車載用ランプシステムの開発に取り組んでまいります。

② セグメント情報の概況

前第2四半期連結会計期間から、自動車機器事業に含まれていたアクセサリ&パーツ製品について、事業区分を見直し、コンポーネンツ事業へ変更いたしました。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

1) 自動車機器事業

自動車及び二輪車の生産台数は、中国では増加しましたが、日本、米州、欧州、アジアでは減少となり、世界全体として減少となりました。

このような市場環境のもと、当社グループの自動車機器事業は、自動車、二輪車の販売・生産台数減少の影響を受けて、自動車用ランプ及び二輪車用ランプが減少したことにより、減収減益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における自動車機器事業の売上高は2,052億7千9百万円（前年同期比14.0%減）、営業利益は113億3千2百万円（前年同期比30.1%減）となりました。

2) コンポーネンツ事業

当セグメント（主な製品：LED、液晶等）が関連する、車載市場、LED照明市場、AV市場及び遊技市場は減少となりました。

このような市場環境のもと、当社グループのコンポーネンツ事業は、自動車生産台数が減少した影響を受けて、車載用LED、液晶、及び自動車電球が減少したことにより、減収減益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間におけるコンポーネンツ事業の売上高は299億5千5百万円（前年同期比12.0%減）、営業利益は26億9千7百万円（前年同期比43.4%減）となりました。

3) 電子応用製品事業

当セグメント（主な製品：LED照明、液晶用バックライト、ストロボ、操作パネル、社内向け電子基板等）が関連する、PC・タブレット市場は増加となったものの、車載インテリア市場、LED照明市場、OA市場及びカメラ市場は減少となりました。

このような市場環境のもと、当社グループの電子応用製品事業は、リモートワーク等の増加によるPC特需を受けて液晶用バックライトが増加したものの、自動車用ランプの制御等に用いる電子基板や車載向けの操作パネル等が減少したことにより、減収減益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における電子応用製品事業の売上高は662億8千7百万円（前年同期比11.7%減）、営業利益は88億7千4百万円（前年同期比7.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,093億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ149億5千8百万円増加しております。要因は、固定資産が98億2千2百万円増加したこと及び、流動資産が51億3千5百万円増加したことによるものです。固定資産の増加は、投資有価証券が増加したこと等によるものです。流動資産の増加は、現金及び預金が減少したものの、受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものです。

負債は987億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億1千9百万円増加しております。主な要因は、製品保証引当金が減少したものの、支払手形及び買掛金が増加したこと及び繰延税金負債が増加したこと等によるものです。

純資産は4,105億2千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ125億3千8百万円増加しております。主な要因は、その他の包括利益累計額が70億5千9百万円増加したこと及び、株主資本が35億7千8百万円増加したこと等によるものです。その他の包括利益累計額の増加は、その他有価証券評

価差額金が増加したこと等によるものです。また、株主資本の増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

感染症の世界的大流行はいまだ収束しておりませんが、自動車の生産台数は当初の予測を上回るペースで持ち直しております。新規受注品も功を奏し、当社の業績は当第3四半期連結会計期間において、前年同期比で大きく増加に転じたため、2020年7月27日に公表した2021年3月期通期の連結業績予想を上方修正いたしました。

なお、上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	133,475	127,051
受取手形及び売掛金	52,569	64,029
有価証券	200	500
たな卸資産	31,851	30,938
その他	21,815	22,528
貸倒引当金	△6	△8
流動資産合計	239,904	245,040
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,784	68,703
機械装置及び運搬具（純額）	56,792	56,923
工具、器具及び備品（純額）	17,668	19,398
土地	14,961	15,012
リース資産（純額）	2,713	2,509
建設仮勘定	26,243	20,337
有形固定資産合計	182,164	182,885
無形固定資産		
のれん	4,180	744
その他	5,178	9,072
無形固定資産合計	9,359	9,816
投資その他の資産		
投資有価証券	55,313	61,769
繰延税金資産	5,018	2,731
その他	2,605	7,080
投資その他の資産合計	62,937	71,582
固定資産合計	254,461	264,284
資産合計	494,365	509,324

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,253	35,749
1年内返済予定の長期借入金	—	103
リース債務	821	716
未払法人税等	2,081	2,225
製品保証引当金	17,689	13,976
賞与引当金	4,613	2,574
役員賞与引当金	112	85
その他	17,718	19,479
流動負債合計	74,289	74,911
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	108	—
リース債務	2,000	1,973
繰延税金負債	1,079	4,315
役員退職慰労引当金	49	50
退職給付に係る負債	7,302	6,606
資産除去債務	499	501
その他	1,046	436
固定負債合計	22,086	23,884
負債合計	96,376	98,796
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,514	30,514
資本剰余金	29,878	29,878
利益剰余金	327,781	334,004
自己株式	△29,643	△32,287
株主資本合計	358,532	362,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,112	19,061
為替換算調整勘定	△12,619	△10,879
退職給付に係る調整累計額	△1,506	△1,135
その他の包括利益累計額合計	△13	7,046
新株予約権	457	515
非支配株主持分	39,012	40,855
純資産合計	397,989	410,528
負債純資産合計	494,365	509,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	302,184	258,816
売上原価	237,277	206,321
売上総利益	64,906	52,495
販売費及び一般管理費	33,169	29,332
営業利益	31,737	23,162
営業外収益		
受取利息	1,047	1,110
受取配当金	655	452
持分法による投資利益	1,999	570
受取ロイヤリティー	1,167	801
助成金収入	93	638
雑収入	493	257
営業外収益合計	5,456	3,831
営業外費用		
支払利息	207	73
為替差損	350	665
雑損失	537	417
営業外費用合計	1,094	1,157
経常利益	36,099	25,837
特別利益		
固定資産売却益	17	34
投資有価証券売却益	—	9
特別利益合計	17	44
特別損失		
固定資産除却損	1,283	946
投資有価証券評価損	—	503
特別損失合計	1,283	1,449
税金等調整前四半期純利益	34,833	24,431
法人税等	7,656	7,844
四半期純利益	27,177	16,587
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,206	2,731
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,970	13,855

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	27,177	16,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,025	4,947
為替換算調整勘定	△4,963	2,263
退職給付に係る調整額	973	369
持分法適用会社に対する持分相当額	610	517
その他の包括利益合計	△1,354	8,098
四半期包括利益	25,823	24,685
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,528	20,914
非支配株主に係る四半期包括利益	3,294	3,771

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位: 百万円)

	自動車 機器事業	コンポーネ ンツ事業	電子応用 製品事業	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	238,236	21,300	42,444	202	—	302,184
セグメント間の内部 売上高又は振替高	408	12,734	32,621	2,044	△ 47,808	—
計	238,644	34,034	75,066	2,246	△ 47,808	302,184
セグメント利益	16,222	4,761	9,633	69	1,050	31,737

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない身体障害者雇用促進事業、グループに対する金融・経営サービス等の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額1,050百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,606百万円、セグメント間取引消去4,651百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費及び管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位: 百万円)

	自動車 機器事業	コンポーネ ンツ事業	電子応用 製品事業	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	204,682	17,741	35,939	452	—	258,816
セグメント間の内部 売上高又は振替高	597	12,214	30,347	1,785	△ 44,944	—
計	205,279	29,955	66,287	2,238	△ 44,944	258,816
セグメント利益	11,332	2,697	8,874	46	211	23,162

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない身体障害者雇用促進事業、グループに対する金融・経営サービス等の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額211百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,948百万円、セグメント間取引消去4,183百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費及び管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間から、自動車機器事業に含まれていたアクセサリ&パーツ製品について、事業区分を見直し、コンポーネンツ事業へ変更いたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

自己株式の消却

当社は、2020年12月24日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を下記のとおり決議し、実施いたしました。

(1) 自己株式消却に関する取締役会の決議内容

- ① 消却する株式の種類
当社普通株式
- ② 消却する株式の総数
300,000株
- ③ 消却予定日
2021年1月15日

(2) 消却日

2021年1月15日

(3) 上記の消却後の発行済株式総数は、173,400,000株であります。